



## 第25回 補聴器キーパーソン全国会議報告

愛知県補聴器キーパーソン 柘植 勇 人

第25回補聴器キーパーソン全国会議は、第45回全国身体障害者福祉医療講習会と同時開催で、2019年6月1日・2日の2日間、島根県の松江にて行われました。その内容および討議について以下の通り報告いたします。

### 1. 6月1日(土)オープンミーティング

(補聴器キーパーソン以外も自由参加可能)

#### 1) 補聴器適合に関する診療情報提供書を用いた医療費控除について

○「診断書でも税務署は認めているし、作成料も取れるから良いのでは…」という意見

学会としては、適正な補聴器販売に向けて「補聴器適合に関する診療情報提供書(2018)」の普及を目指している背景があるので、これを活用してほしい。

○「補聴器相談医以外が書いてもわからないのではないか…」という意見

確かにその通り。ただし、日本での補聴器状況のレベルアップの視点から、学会としては補聴器相談医→認定補聴器専門店の形を推進していきたい。

#### 2) 日本補聴器販売店協会制定の「禁忌8項目」改訂について (杉内 智子先生)

事前に耳鼻科医に行われたアンケート結果の報告より、徹底不十分なところがありさらに啓蒙が必要であるとコメント。(添付資料P2参照)

### 2. 6月2日(日)クローズドミーティング

(補聴器キーパーソンのみ)

#### 1) 各地方部会補聴器キーパーソンから問題提起

○「認定補聴器専門店が近隣に存在しない。そのため、認定店でないお店と勉強会を開いている…」 → 日本補聴器販売店協会が補聴器販売者の技術向上を目指した研修会を全国で開催し、「認定補聴器技能者」を目指して頂けるように啓蒙しているので、日本補聴器販売店協会にも問い合わせてほしい。

○軟骨伝導補聴器の公費助成を知りたい → 認められていない場合もあるが、通常は特例補装具として対応されている。

○人工内耳体外装置に総合支援法で助成? → 保険診療で対応されるべきである。

#### 2) 国民生活センターからの補聴器に関する苦情等の情報について (佐野 肇先生)

苦情件数 2017年 合計595件

店舗55% 通販18% 訪問販売・展示会14% 病院/医師紹介3%

内容は、印象材のトラブル、高額

(138万円1件、100万円2件)、返品できない、調整料を請求された など、例年と大きな差はなかった。

(来年のキーパーソン全国会議は福井県で2020年6月13日～14日)



## 補聴器ご購入の前に

お客様が安心してご相談できますよう、  
次の項目を確認させていただいております。

下記8項目のうちいずれかに該当する場合は必ず耳鼻咽喉科(補聴器相談医)の受診をお願いします。

また、初めて補聴器を購入する場合には、事前に補聴器相談医の補聴器適応のための診察をお受けになるようお勧めいたします。

### 禁忌8項目

- 耳の手術を受けたことがある。
- 最近3ヶ月以内に耳漏があった。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下した。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなった。
- 外耳道に痛みまたは、かゆみがある。
- 耳あかが多くたまっている。
- 聴力測定の結果、平均聴力の左右差が25dB以上ある。
- 聴力測定の結果、500、1,000、2,000Hzの聴力に20dB以上の気骨導差がある。

### その他の確認事項

- 補聴器の公的支援や助成制度について説明を希望される方はお申し出ください。
- 販売店では、医療機関で行うような診察や検査および診断は行えません。  
販売店では、補聴器適合のために観察や測定を行います。
- 心臓の病気・脳梗塞・血栓症などの治療で薬を内服している場合は、出血し易くなっていないか、耳の奥の皮膚をこすっても心配ないか医師に相談してください。
- 販売店では、耳鳴りの診断や治療はできません。補聴器相談医の指示がなければ耳鳴りの治療を目的とした補聴器の販売はいたしません。
- 販売店では、認知症の診断や治療はできません。認知症の予防、治療を目的とした補聴器の販売はできません。
- 販売店では、耳の手術を受けたことがある方の耳型採型はできません。

